０９月１２日付　宮城２　１３版　箱組

文字大きさ＝Ｌ字　１１８倍６×３０行　2東北大医学部コラム

校正回数　＝４３　最終更新時刻＝０９月１０日２１時４２分０４秒
出力指示時刻＝０９月１０日２１時４２分１６秒
ＹＴＫＫＭＫ１９

東北大医学部教授リレーコラム

看護職「その人らしさ」支援

星陵の学びやから

看護管理学分野教授
朝倉（あさくら） 京子（きょうこ） さん

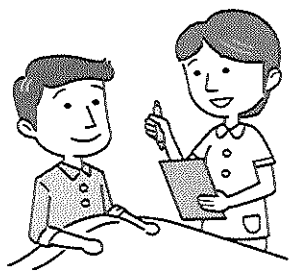
現在、日本には約160万人余りの看護職がいます。私たちは、看護師や保健師として働く看護職の能力を引き出し、その専門性を最大限に発揮できる環境を整備し、社会で求められる看護職の人材育成に寄与する研究をしています。

1991年、日本赤十字看護大卒。日本赤十字社医療センターで看護師として経験を積み、2001年、日本赤十字看護大博士課程を修了。厚生労働省勤務を経て、02年、新潟県立看護大看護学部助教授。09年から現職。

さて、みなさんは、身近にいる看護職の仕事を、どこまでご存じでしょうか。

患者さんを診察室まで案内する、診察をする医師の後ろに控え、血圧測定や注射をする……。確かに、その仕事内容は間違ってはいません。看護職は医療行為においては医師の指示を受けますが、決して医師の言う通りに動いているだけではありません。看護職は医師とは異なる独立した役割を持った専門職です。

「安寧」という表現があります。一般用語でもありますが、「痛みや不安、苦悩などがなく、心身が穏やかに安定している」状態を指す看護学の用語です。看護職は病気や症状だけを見るのではなく、「いかに安寧に、その人らしく生活できるか」を支援するための視点から患者さんをみています。



例えば、治療法を選択しなければならない状況を想像してみましょう。いくつかの治療法のなかから、どれかを選ぶとき、「これがベスト」と医師が薦めてくれる場合もありますが、それぞれのメリット、デメリットの説明を受け、患者さん自身が選ばなくてはならないことがあります。

また、すでに開始した治療についても、本当にそれでよかったのか、と心配になったり、治療後の生活が心配になったりすることもあると思います。

最終的な決断をするのは患者さん自身ですが、看護職は、患者さんの希望を尊重しながら、治療法の選択や療養について一緒に考えることができます。また、患者さんが医師には伝えにくいことをどう医師に伝えるかを一緒に考え、医師との間を取り持つお手伝いができます。

厚生労働省は現在、国民の療養の場を病院から地域（自宅あるいは療養施設、介護施設）に移す政策を推進しています。以前のように長期間入院することは難しくなり、病院でしかできない治療を終えたら自宅や地域の施設に移って療養を継続することになります。

このような場合も看護職を頼りにしてください。自宅には、訪問看護師が出向くことができますし、介護施設、通所リハビリ、地域包括支援センターには看護職が勤務しています。それぞれの場で、みなさんの健康状態の維持と回復、その人らしい生活の実現に向かって支援します。

自分や家族の病気や治療のこと、日常生活や今後のこと、保健医療福祉サービスのこと……。お気軽に看護職にご相談ください。きっとお役に立てると思います。「市民の総合的なライフサポーター」としての看護職の役割を知っていただき、その力を活用していただきたいと思います。

※リレーコラムは原則第2、4水曜日に掲載します。

ジョブチケット番号　(1.1.1.010001155050.20180910.29269)
文字インバリッド　（　０）
イメージインバリッド　（　０）